

## 第11回日本禁煙科学学会 優秀演題賞受賞

先日京都で行われた第11回禁煙科学学会の一般演題で昨年に続き優秀賞をいただきました、演題名は「金沢市における宿泊施設の禁煙対策 一新幹線開業前後の変化」です。金沢市内の全宿泊施設を対象にH22年とH27の各施設における禁煙対策を比較検討しました。両年とも60軒弱、部屋数は7,700強でした。5年間で禁煙室を増設するホテルが増え、特に全室禁煙は2軒から8軒、70%以上禁煙も倍増し、50%以上禁煙のホテルが4割強から約3/4に増加しました。このように禁煙の施設数が増えている印象ではありますが、客室数では禁煙室は全体で5割から6割強にしか増えておらず、特に小規模ホテルではH22年から部屋の禁煙率が1/4程度と低く、27年も依然として50%に落ちませんでした。現在もホテル建設が進んでおり、新規ホテルは禁煙室の割合が高い傾向にありますが、今回の結果を業界関係者や行政に働きかけ禁煙室の増加につなげたいと考えております。

また、このような賞を頂いたのも、ひとえに皆様のご尽力の賜物と存じております、特にデータ採取から集計までほとんどお一人でまとめて下さいました吉田健治事務局長にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます、今後とも宜しくお願い申し上げます。

金沢医療センター 心臓血管外科 遠藤将光

